

開運成就 粟生聖天

真言宗 智山派

定福寺だより

不退転

『不退転』 真言宗智山派管長・総本山智積院化主第六十八世 宮坂有勝猊下 筆

蓮咲くは
笑い地蔵の
在す寺

新四国曼荼羅霊場第六十一番

2021年 60号

かのと うし
辛丑

能傳子



ごあいさつ

住職 釣井 龍秀

皆様におかれましては、日々御信心で定福寺にご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。二〇二〇年は世界中が、感染症に振り回された一年でした。そして、この定福寺だよりを執筆をしている現在も、多くの感染者が報告されています。感染された方は速やかに完治されますように、またお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。皆様は、体調はいかがでしょう。くれぐれもご留意ください。

ご存知のようにウイルスや細菌は、はるか昔から存在しています。有効なウイルスとは共存し、悪影響を与えるものは、人々を悩ましてきました。石弘之氏は『感染症の世界史』（二〇一四年）の中で、人の移動は道具や生活用具、武器、言語、技術、神話、音楽、信仰などを新たな土地へ運んで行ったが、目に見えない細菌やウイルス、微生物も人や動物などに寄生し移動したと述べています。また「人は病気の流行を招きよせるような環境をつくってきたが、今後ますます流行の危険は高まるだろう。というのも、日本をはじめ世界各国が、歴史上例のない人口の集中化と高齢化の道をつとっているからだ」と二〇一四年に記しています。現代社会の環境は、老若男女が感染症の脅威にさらされ、感染の確率が上がっているということになります。現在のような状態を二〇一九年まで、私は想像すらしていませんでした。家族を看病したいのに、病院に行けない様子や県外の子供や孫に会うことができない様子を見聞きすることは辛いことです。今回のウイルスの世界的な感染は、生活に対する考えや働き方に対する考え方など我々に大きな影響をあたえることになりました。

豊永郷の歴史や史料、現在まで残る風習からわかることは、各地区で生活するには「結（ゆい）」で、屋根替えや田植え、水路の整備や道の整備など協働しなくては、生活することができなかったということです。このような協働をするために、各地区内でのつながりは重要でした。芸能や信仰も人々をつなげる役割の一端を担っていました。豊永郷では、そのような風習が、現在でも続いていることもあります。道具や技術、社会保障などのお陰で、多くは家族単位や個人で、作業を終えることができ始めました。また道具や技術など獲得したものばかりでなく、捨て去られたものも多くあります。私が驚いたのは、捨て去る速さです。豊永郷の資料によると江戸時代やそれ以前から、茶の栽培が盛んにおこなわれていたことがわかります。その品質も良く、重宝されていたことがうかがわれます。ところがある時から一気に茶の栽培がおこなわれなくなっています。時代と共に養蚕など様々な産業が盛んになると、茶業は急激に減少しています。昭和三〇年代には、大事にしてきた山や田畑も売り、新たな産業に労働を移行した家庭もありました。私たちは社会の状況を考え、生きるために様々なことに順応し、変化をさせてきたことがわかります。ジャレド・ダイアモンド氏は『銃・病原菌・鉄』（二〇〇〇年）の中で「世界史では、いくつかのポイントにおいて、疫病に免疫のある人たちが免疫のない人たちに病気をうつしたことが、その後の歴史の流れを決定的に変えてしまっている」と述べています。これはヨーロッパ人が侵略した、大陸の先住民の話をしています。現在の我々が直面していることにも当てはまるように思えます。

このような変化は、「祈り」の世界でも同様です。世界中で社会の変化の影響を受け「祈り」も変化をしています。どのように変化をしたのかなど、詳細はここでは省略いたしますが、「祈り」には人々の願いが根底にあります。願いが変化をすれば、「祈り」も変化することになります。伝統文化も保存し継承するだけではありません。その時代の人々が、変化させながら継承されている様子は、定福寺の先師が残した、経典や言葉からも、うかがうことができます。もう一つ先師の記録からわかることは、変化をさせてはいけなことを知り、真摯に取り組んでいるからこそ、変化をさせる判断ができていているということです。自利より利他に重きを置いていることもわかります。明治時代の廃仏毀釈の折定福寺の住職だった野本進甲師は、定福寺はもとより自費を投じて香我美町のお寺を復興したり、他のお寺の復興にも勤めています。

これまで私は、「祈り」を根幹にし、持続可能な山村生活、地域や地域のつながりの変容に注目し生活をしてきました。「結」の作業から「個」の作業に移り変わっても、変わらないこともあります。それは何をするにしても人とのつながりは、大変重要な役割を果たしているということです。そのつながり方が、感染症症という外的な要因により、二〇二〇年から大きく変化しようとしているように思われます。高度成長期前後の変化のように、労働や価値観の変化が起きるのかもしれませんが、その中で大事だと思ふのは、何を守り何を変化させるのかという判断です。

定福寺では「祈り」を根幹として、これまでのつながりと新たなつながりを大事にしていきたいと考えています。

岩本寺さま高野寺さまと共に、「劫究会」という真言宗の派を超えた勉強会を作っています。若い頃から金蓮寺さまを含めいくつかの寺院で、様々なことについてこれまで話し合ってきました。皆が住職となり、それぞれの思う方法で、お寺のことや考えを持ち、行動にうつされた様子が高知新聞に掲載されました。



金蓮寺



岩本寺

前号の定福寺だよりでご報告をさせて頂いておりました、高知市内での御法事や活動を行うためのお堂が完成いたします。

私が定福寺にお世話になった二十五年前は、ほとんどが豊永郷の各家庭か、高知市や南国市、香美市などのお宅で法事をされ、後におきやくをいたしておりました。時間と共に状況が変化いたしました。お年を召された豊永にいらっしゃるご両親に、ご法事の準備をお願いするのではなく、お寺で法事をされ、食事を取り帰宅される方が多くなりました。お越しになりやすいようにとお手洗いや車椅子でもお越し

いただけるように、お寺の境内の整備を進めてまいりました。

また近年では大豊町外に出られた方が、「お寺まで車で行くことが大変になった」というお話もお聞きいたしておりました。現在では、大豊町外での御法事が五割になっていきます。街の家の造りは田舎とは違い、親戚など多くの方をお招きする部屋がなく、葬祭会館などを利用される方も多くなっています。

私の父は教師でした。最初は本山町に赴任いたしておりましたが、高知市内に転勤となり、大豊町から高知市上町に移り、借家に住んでおりました。現在



準備中の観音堂



高知市玉水町62-1

の旭の家は、六十年ほど前に売り出された土地を購入し、家を建て、私の生家となりました。両親とも他界し、売却を考えていました。同時に、前述のようにご法事の多くが市内となり、年を重ねられ、お寺までお越しになられることが、大変になったことなどを見聞きいたしておりました。またわざわざ会館をお借りして、ご



十一面観世音菩薩

法事をしなくてはならない状況が、増えつつあることにも気づいていました。二万人以上いた人口が三千人台になるといことは、距離的に身近にあるお寺ではなく、不便になることは想像ができます。そこで、どなたにでも定福寺をお参りしやすいように、定福寺の飛び地境内として、私の生家を改修し、ご法事が行えるような場所として、新たに整備しようと考えました。御本尊には十一面観音さまを安置することとなりました。飛び地境内というのは、定福寺の境内のお堂が、別の場所にできるということを意味しています。各地区にお堂とお宮があるように、高知市内にお堂ができたとして、考えて頂ければと思います。江戸時代まで定福寺の持仏堂（現在お寺で法事をする場

所）は、観音さまが祀られ、持
仏堂から仁王門まで回廊があっ
たと記されています。義光僧正
の時代に御縁を頂き、制作いた
だいた十一面観音像（これまで
本堂にいらっしゃった仏さま）
を旭の観音堂の御本尊として安
置し、宝物館に安置されていま
した一一〇年前の十一面観音
像（昔、加持ヶ森に安置されて
いた仏さま）を本堂に安置いた
しました。

現在定福寺のお檀家様でなく
とも、豊永郷が出身地でない方
でも、高知市内をはじめ、どこ



観音堂からの景色

に在住の方でも、定福寺のお檀
家様になることができます。高
知市内に定福寺の飛び地境内が
完成したことをきっかけに、お
参りいただければと思います。
また定福寺でも行う予定の般若
心経の講習会や瞑想やヨガなど
の文化活動、豊永郷文化講座な
どを行う予定です。将来的には
高知に出られた方々が、お茶を
飲みながら話ができる場所にな
ればとも思っています。ご法
事などのご要望は、定福寺にご
連絡を頂ければと思います。

定福寺飛び地境内 観音堂・仏具 御寄附のお願い

定福寺観音堂の準備は進んで
いますが、いくつかの仏具が必
要になりました。

仏具数点(五十万円)釣燈籠四
個、椅子、机など(五十万円)で
す。御寄進いただいた方は、仏
具に名前を記させて頂き定福寺
に御寄附者石柱を建立させてい
ただきます。よろしくお願い致
します。

都築康博様 責任役員ご退任 ご報告

平成十六年より十六年間、定福寺責任役員を務めていただきまし
た都築康博様が令和二年一月を持ちましてご勇退されました。他の
ために力を注ぐということは、何事においても大変なことです。お
寺は一般社会と異なった面がございます。大変なこともあったとお
もいますが、いつも定福寺を思い御助力を頂き、ご助言を賜りました。
長きに渡り、都築康博様並びに奥様の美穂様に定福寺を支えてい
ただきましたことを、心より御礼申し上げます。今後ともご指導の
程、宜しくお願いいたします。



定福寺講堂建設のための御寄付のお願い

皆様方には、二年前より講堂建設のために御助力を賜り大変感謝を致しております。二〇二〇年は感染症のことがあり、活動を自粛いたしておりました。その中でも多くの方に御寄附を賜り、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。目標金額の一億五千万円に少しづつ前進いたしておりますが、建設を進める段階には、まだ至っておりません。再度、ご案内をさせて頂きま

一、これまでの定福寺

定福寺には、かつてお堂が十二宇、仁王門や鐘楼堂、持仏堂（観音堂）、教院などがあったことがわかっています。教院には多くの経典や史料が保存され、教院の間は寺子屋があり、剣道の練習場もあったことが最近判明いたしました。明治時代に寄贈された仏具に残された名前から、豊永郷の内外より定福寺に多くの方が、訪れていたことがわかります。定福寺はこれ

までも多くの方々に支えられてきました。

定福寺では、近年まで老若男女が訪れて利用していただける場となるために、活動を続けてまいりました。かつて境内にユースホステルがありました。現在は境内に土佐豊永万葉植物園があり、多くの万葉集の歌碑が建立されています。歌碑周辺には歌われている花が咲き、植物に興味のある方や写真家、俳句の会の方々が訪れています。境内に併設するNPO法人が運営する豊永郷民俗資料館は、豊永郷の人々が生活してきた道具が、一万二千点以上展示され内二六九五点は重要有形民俗文化財に指定されています。また豊永郷民俗資料館自体が展示物となり、二〇一七年にはグッドデザイン賞を受賞いたしております。

二、講堂建設に至るまでと建設後

現檀信徒会館は、五三年前にユースホステル協会からの借り入れにより建設し、ユースホステルとして使用されてい

現在、主にご法事の後のお食事の場所、団体参拝の方々のお接待の場所、定福寺での様々な話し合いの場所としてご利用頂いております。

講堂建設後もこれらの機能は、そのままご利用いただけます。ご利用いただきやすいように、車いすやベビーカーでお越し頂ける建物になります。

今回の講堂建設の話が浮上する前より、毎年修繕費用のかかる檀信徒会館の利用方法と、今後の定福寺の在り方、活動の仕方について憂慮いたしておりました。定福寺の根幹には「祈り」があります。定福寺の境内の様子、たたずまいは祈りの場であり、遙か昔より「祈り」が継続されてきたために、出来上がった景観です。現在も毎朝、長老と住職は欠かさず、ご本尊さまから熊野神社、持仏堂と境内の各所の「祈り」を行い、定福寺に御縁のある方々、豊永郷の人々、また広く万人に向けて今日一日、安心して生活できますようにと願っています。ご法事や

お葬儀、ご祈祷など定福寺で執り行われるすべての祈りは、願う人々が安心して生活ができるように、心からの願いが成就しますようにと、真言宗の教えに従い厳修されています。

これらの「祈り」が継続できているのは、お寺の役割に集中できるからこそです。この環境は、定福寺に御縁のあった皆様と先人、また寺族と先師の協働の作業により一三〇〇年間、形を変えながらもつながれてきました。

「ごあいさつ」でも申し上げましたように、価値観や考え方は徐々に変化をいたしております。人口の減少が進む大豊町で、二万人が住んでいた（江戸時代でも九千人いました）時代のままの姿勢では、山寺の定福寺が現状のまま存続することは、難しいと考えていました。人口の減少に加え、お寺を思っていたにしている人々の価値観も変化をしている様子を肌で感じていました。様々な要因により豊永郷で住むことの難しさを感じた

人々は、自分たちはこの地に残るけど子供たちは、これからは外で働くべきだと促し、また子供たち自身が判断し、町外へと生活を移しています。昭和七年生まれの、私の実父もその一人です。社会の変化を考えると、これは自然なことであり、当然のことです。最初に町外に出た人々は、豊永郷での生活を知っている人々でした。現在はその方々のお孫さんの世代となり、豊永郷が遠くなりました。お寺との関係も身近なお寺ではなく、多くあるお寺の一つと考える人もいると思います。これも当然のことです。

一方でお寺は、身近な存在でありたいと六十年以上、定福寺だよりをお届けしたり、メディアに映ることで豊永郷の現在を見て頂くこうしたり、またご法事の際には、若い世代の人たちにお声をかけさせて頂くようにようにしてきました。少しでもお寺のこと、仏教のことを知っていただくとうご法事の後、短い時間ですがご法話もさせて頂いています。お寺とお檀家さん

やご縁の方々の住む場所とお寺の距離が、離れることと比例するように、お寺と皆様の距離が離れないようにと考えています。お寺の至らない点も多々あり、ご指導を賜り、ご助言を頂くこともあります。そのように言っていただけることに関して、感謝を致しております。

お寺も皆様方と同様に次の世代を育てるには、厳しい環境となっています。定福寺も私が副住職で長老が住職だった時のように、二人の僧侶がいる状態では、今後は成り立たないと考えています。住職になる前から住職になった後、退くタイミングを考え、退いた後、どのように定福寺を支えていくのかをずっと考えてきました。

定福寺は明治の廃仏毀釈の際、吉野川では一ヶ寺だけ廃寺を免れました。その理由は、以前からお伝えいたしていますように、豊永郷の人々、また定福寺に御縁のあった方々のお陰様でした。豊永郷民俗資料館は、先々代の義光僧正の昭和三十年代の茶釜の収集から始まり、五〇年代ま

で盛んに収集されました。私が定福寺に来た当初、外で野ざらしになっている民具、国の重要有形文化財とは名ばかりに、積み上げられ雨漏りがする場所で、直射日光を浴びている道具もありました。これらの道具は、すべて定福寺を護ってくださった人々が、家族や子供たちのために一生懸命使ってきた道具であり、手垢と共に願いの籠った道具です。まさに「祈りの道具」だと私は感じました。社会からの弾圧という厳しい明治時代にお寺を護ってくださった方々の道具を、人口減少と共にかつての生活の様子が無くなるうとする中で、今度はお寺が皆様の文化や生活を語り継ぎ、残さなければならぬと考えました。豊永郷民俗資料館は、お寺としてではなく、NPO法人として建設をいたしました。

豊永郷での生活は、神楽も神社も、ご祈祷もお寺も、農作業も林業も、あらゆるものが関係しあっています。豊永郷の人々を振り返るとき、お寺やお宮を宗教活動だからと分割すること

は、多くのことを見逃してしまいう要因だと思っています。豊永郷に住み始めて二十五年の間、今後の定福寺の在り方を考える中で、お寺として守らなければならないことが、徐々に見えてきたように思えます。

今後、それらを実行するためには、今、環境の整備をする必要があると考えました。

以上のことを踏まえて、講堂の建設をする決断をいたしました。きっかけは、関東の個人の方からの、仏さまの寄贈の申し出でしたが、それ以前からおぼろげに考えていたことを今回、認めさせて頂きました。

今後、講堂の建設という希望がかなったならば、前述したお寺の機能に加えて

① 仏教講座（般若心経の講座など）やヨガ教室、写経・写仏などを行います。

② 僧侶の研修の場として、傳授会や一般参加可能な講習会をおこないます

③ 多くの方にあらゆる文化活動・生涯学習の場として利用

していただきます。

④豊永郷の食文化の継承の場として、また豊永郷民俗資料館との連携し豊永郷の知恵の継承の活動を行います。

⑤会社などの新人研修会、学生の学びの場として活用いたします。

⑥幼児から研究者まで利用できる学習の場を提供いたします。

⑦一階の壁は、本棚を設置し図書館の機能をもたせます。

⑧現在建設中の駐車場の有効利用し子供たちがスポーツなどの活動ができる場にいたします。

以上の機能はの多くが、かつて定福寺が担っていた役割を、現代に変化させたものだと考えています。

三、むすび

先人たちの記録や残された経典からは、お寺は「祈る場であり、学ぶ場であり、集う場である」ことがわかります。豊永郷には古くからの歴史や習慣、文化の一部が現存いたします。これらの智慧の結晶は、現在社会

で生活をする多くの人々に、なんらかを感じていただくきっかけになると考えます。定福寺は豊永郷で生活する人々や豊永郷を行きかう人々によって支えられ、僧侶たちは「祈り」続けてきました。また人々に安心を与えられる場であらうとし続けてきました。

今回、大変な事業であります。が、何卒ご理解をいただき、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

四、御寄付について

(一) お檀家信徒の皆さま

お檀家信徒の皆様には、四年で十二万円をお願いいたしております。五十万円以上御寄進いただいた方は定福寺に御寄進者名を記した石柱を建立させていただきます。

(二) 個人の方々

個人で御寄進を頂ける方も五十万円以上御寄進いただいた方には、石柱を建立させていただきます。

(三) 法人の方

法人の方は、五十万円からの

御寄進をお願いいたしております。御寄進いただいた法人の方は、石柱を建立させていただきます。新人研修などの研修を生涯無料でお申込みいただけます。ただし、定福寺の法要などがある時はご遠慮いただきます。

五、御寄付の受付機関

・四国銀行 大田口代理店

普通 9618339

宗教法人 定福寺

・高知銀行 豊永支店

普通 3009475

宗教法人 定福寺

・ゆうちょ銀行

口座記号 0162017

口座番号 12426

宗教法人 粟生山定福寺

不明な点がございましたら、左記までご連絡ください。

〒7890-167

高知県長岡郡大豊町粟生158

電話0887-74-0301

住職の活動

一月 大豊町観光開発協会

二月 大学卒業論文発表

三好市市民大学講師

「人と自然

道具と技術」

四月 高知市あかるいまち

「歴史万華鏡」掲載

五月 観光開発協会

六月 観光開発協会

高知城博物館評議会

大豊町商工会議所意見

交換会

七月 ミュージアムネットワ

ーク

理事会

九月 京王観光拝観案内

総本山智積院 仁王経

傳授会

十月 ミュージアムネットワ

ーク会

観光ガイド養成講座全

2回

高知大学見学と打合せ

嶺北広域観光準備会

十一月 高知大学見学と打合せ

十二月 真言宗智山派高知教区

会

講堂建設志納金の感謝録

大豊町

沖

一、金 十二万円也

前田 大子様
高木 叡郎様

一、金 六万円也
一、金 三万円也

大田 昌通様
渡辺 栄藏様
笹岡 寛様

大畑井

一、金 十二万円也

西村 澄子様
笹岡 修一様
西村 明政様
笹岡 愛子様

一、金 一万円也
笹岡 信子様
氏原 菊子様

一、金 六万円也

笹岡 洋子様
三谷 博信様
永森 高子様

土居番
一、金 十二万円也

大田宏一郎様
三谷 良子様
三谷三治雄様

一、金 三万円也

西村登美子様
三谷 敏文様
三谷 優子様
三谷勇太郎様
笹岡マリ子様

野々屋
一、金 十二万円也

小笠原啓元様
一、金 十万円也
永森亀太郎様
一、金 九万円也
永森 宗雄様

一、金 二万円也

西村サヨ子様

一、金 八万円也

氏原ヒロ子様

久生野

一、金 十二万円也

笹岡香代子様

一、金 二万円也

小笠原良太郎様
重森 好文様
渡辺 昭子様

一、金 一万円也

氏原ヤスミ様

一、金 六万円也

三谷 敏子様

蔭

一、金 三万円也

八木 恒子様

一、金 二万円也
吉永 洋子様

柚木

一、金 五十万円也

前田幸太郎様

一、金 十五万円也
前田 波穂様

一、金 十二万円也
上地 益美様
前田 尊博様
平石 正宣様
松田 健一様
三谷 賀彦様
上地 健勇様

一、金 六万円也
前田 品子様

一、金 三万円也
前田 勝水様

三津子野

一、金 十三万円也
豊永 信一様

一、金 十二万円也
西村 茂頼様

一、金 一万円也

三谷 常敏様

怒田

一、金 十四万円也

三谷 秋香様

一、金 十二万円也

小笠原貞雄様
門田 福實様
渡辺 伸子様
森尾 憲一様
朝倉 榮一様

一、金 六万円也

前田 孝雄様

一、金 三万円也

久松 一男様
上村 利子様
小笠原武生様
久松美知子様
永森 栄一様
森 栄太郎様
渡辺 君様

一、金 二万円也

森尾千恵子様

南大王

一、金 十二万円也

上村 初子様
岡本 弘様

中内

一、金 十二万円也

渡辺 和子様

高原

一、金 十二万円也

門田 浩人様

川井

一、金 十二万円也

小松 浩久様
岩本 政弘様

一、金 五万円也

渡辺 幸男様

一、金 三万円也

渡辺 盛朗様

落合

一、金 十二万円也

笹岡 壽男様
上池 サチ様
門田 将男様
近藤幸紀子様
平石 秋了様

一、金 三万円也

笹岡たか子様

大滝

一、金 十二万円也

小松 栄子様
小松 俊久様

大平

一、金 一万円也

都築重太郎様

栗生

一、金 十二万円也

田内美伎子様
小笠原康太様

一、金 一万円也	三谷富二子様	笹岡 盛政様	西村政次郎様	三谷 裕一様	立野	一、金 十二万円也	都築 武吉様	西川	一、金 三十万円也	三谷 雄一様	一、金 十二万円也	三谷松太郎様	一、金 五万円也	三谷 安一様	佐賀山	一、金 十二万円也	渡辺 亀子様	山中 亀菊様	松高 宗男様	山中 国男様	山中 和彦様	小笠原茂夫様	松高 俊二様	西村 正子様	西村 武明様	三谷 義文様	山本 幸雄様	西土居	一、金 十二万円也	都築 恵子様	一、金 三万円也	笹岡 利恵様
東土居	一、金 百万円也	西谷 侑紀様	一、金 五十万円也	西村 藤子様	一、金 二十万円也	南 博志様	一、金 十二万円也	小笠原信子様	小笠原覚太郎様	秋山 公生様	松本 秋子様	こんどうストアー	岡林 真理様	一、金 六万円也	平石 義信様	小笠原伊豆子様	八畝	一、金 十二万円也	西村 家光様	笹岡 登美様	小笠原須香子様	信高 春代様	三谷 廣様	西村 時宗様	笹岡 一郎様	西村 尚利様	一、金 六万円也	西村 正尚様	一、金 三万円也	笹岡 利恵様		
三谷	一、金 十二万円也	岡崎 満子様	赤根	一、金 六万円也	下村 春美様	岩原	一、金 三十万円也	下村 皖徹様	一、金 二十万円也	下村ヤスコ様	下村 直史様	岡崎 博臣様	一、金 十三万円也	寛 貞子様	下村和鹿子様	藤原 正至様	下村 照子様	三谷 倫子様	小笠原清司様	森下 廣文様	森下 守良様	一、金 五万円也	一、金 六万円也	森下 廣文様	森下 守良様	一、金 十二万円也	寛 昌幸様	寛 義孝様	寛 艶子様	寛 桂太郎様		
八川	一、金 十二万円也	小松フキ子様	平石松太郎様	小笠原花美様	一、金 六万円也	豊永 敦美様	小笠原和子様	一、金 三万円也	畑山 正親様	大久保	一、金 三十万円也	都築修一郎様	一、金 十二万円也	都築 昭仁様	北窪 博章様	一、金 三万円也	大砂子	一、金 百万円也	北村 光幸様	財木 貞広様	中西 大様	門田千仁子様	一、金 六万円也	中西 力様	中西 一則様	小笠原光秋様	長瀬 澄男様	一、金 三万円也	石川 茂様	豊永 信一様		
一、金 二万円也	門田 平様	永渕	一、金 十二万円也	上村 光夫様	北村 治仁様	北村 長夫様	北村 治様	北村 袈裟雄様	北村 政夫様	一、金 六万円也	北村 利男様	一、金 三万円也	北村 守重様	北村 武子様	一、金 十二万円也	坂本 国治様	上村 広光様	佐竹 和彦様	上村 好重様	上村 良子様	川戸	一、金 十二万円也	西村 享子様	一、金 三万円也	上村美香子様	安野々	一、金 十二万円也	都築 富恵様				

川口	一、金 五万円也	山口 京子様	小川	一、金 二万円也	西谷 善利様	庵谷	一、金 十二万円也	吉村富由子様 永森 遥子様 白石知代子様	一、金 三万円也	西谷 章博様	黒石	一、金 十二万円也	三谷 水利様 小笠原 清様	上池 楠於様	一、金 五万円也	山中清和子様 上池 楠於様	一、金 六万円也	小笠原美衛様	上東	一、金 十二万円也	三谷 良一様 三谷 幸夫様 三谷 忠幸様	都築 俊子様 上地 博子様	一、金 三万円也																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
川口	一、金 三万円也	中村大王 小笠原ヨシ子様	戸手野	一、金 十二万円也	三谷 豊恵様	寺内	一、金 十二万円也	都築 満男様 三谷 和也様 釣井 直子様 久保 慶子様	一、金 三万円也	村山志津子様	一、金 六万円也	徳弘 幸盛様 村山志津子様	高須	一、金 十二万円也	小笠原利友様	杉	一、金 六万円也	永森八重子様	藤原 正豊様	一、金 二万円也	佐竹 秀逸様	平石 安央様	一、金 三万円也	一、金 十二万円也																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
川口	一、金 三万円也	小笠原ヨシ子様	小笠原喜代子様	小笠原祥一様	小笠原利夫様	小笠原秀郎様	小笠原正様	小笠原光子様	門田 健夫様	上地 正子様	高知市	一、金 百万円也	竹林寺住職 海老塚和秀様	一、金 五十万円也	(有)成豊建設 上村 一正様	一、金 三十万円也	寛 邦彦様	一、金 二十六万円也	小松 久保様	一、金 二十万円也	北村 真一様	一、金 十五万円也	笹岡 廣様	一、金 十二万円也	井上 央様	岡崎 順一様	小笠原郁子様	小笠原育彦様	小笠原喜代子様	小笠原祥一様	小笠原利夫様	小笠原秀郎様	小笠原正様	小笠原光子様	門田 健夫様	上地 正子様	船戸	一、金 十二万円也	山本 富男様	和田目付	一、金 六万円也	前田 浩二様	高知市	一、金 百万円也	竹林寺住職 海老塚和秀様	一、金 五十万円也	(有)成豊建設 上村 一正様	一、金 三十万円也	寛 邦彦様	一、金 二十六万円也	小松 久保様	一、金 二十万円也	北村 真一様	一、金 十五万円也	笹岡 廣様	一、金 十二万円也	井上 央様	岡崎 順一様	小笠原郁子様	小笠原育彦様	小笠原喜代子様	小笠原祥一様	小笠原利夫様	小笠原秀郎様	小笠原正様	小笠原光子様	門田 健夫様	上地 正子様	上村 馥様	上村 積夫様	上村 太喜夫様	上村 吉秋様	上村 賀彦様	上村 義久様	北窪 堅一様	北添ひとみ様	小松 一郎様	佐野 茂様	澤田 美紀様	下村 元明様	高橋 節子様	砂田 英伸様	瀧下 靖夫様	田内喜久世様	中西 清彦様	長野 智晴様	孝弘様	永森 美智様	西村 満恵様	信高 幸子様	平石 甲子郎様	平石 礼子様	平石 君子様	藤田恵美子様	藤原憲一郎様	藤原 恵様	三谷 加子様	松田 時江様	三谷 孝子様	三谷 直行様	三谷 義兼様	三谷 栄男様	森本 晃行様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英法様	渡辺 茂信様	渡辺 芙佐子様	渡邊 道男様	石本喜久子様	大崎 一男様	徳増 和男様	弘瀬登美子様	岩村 久様	豊永 正富様	門田 速雄様	笹岡 良男様	上田 直人様	一、金 九万円也	氏原 靖夫様	上地 幸男様	一、金 六万円也	大崎 和様	尾立 靖宣様	上村 正男様	佐竹 英敏様	白石 重喜様	都築登喜子様	西村 正様	藤原 一男様	三谷 一彦様	三谷 純清様	弘田 允英様	三谷 宏様	畦地美知子様	山崎 豊様	山中 末子様	山中 展子様	山本 光子様	吉永 俊誠様	吉村 英

一、金 六万円也	山中 泉様	一、金 三万円也	田中 球地様	上村 守様	三谷民主雄様
一、金 一万円也	小笠原陽子様	一、金 三万円也	山崎 博三様	藤原 忠重様	
三重県		一、金 一万円也	小松 淳子様	愛媛県	
一、金 十二万円也	西村 文夫様	高倉 紘世様		一、金 十二万円也	笹岡正太郎様
一、金 六万円也	日浦 種子様	兵庫県		笹岡正太郎様	下村 忠広様
滋賀県		一、金 十二万円也	岡崎孝之進様	豊永 信廣様	西村圭太郎様
一、金 十二万円也	三谷 浩視様	北窪 正典様	三谷 修司様	一、金 三万円也	石川 雅人様
一、金 三万円也	小笠原 昌彦様	高田 明様	上地 操一様	徳島県	
京都府		白石 昌久様	藤本 功様	一、金 二十万円也	杉浦 悠太様
一、金 百万円也	小笠原 康夫様	大家 浩二様	一、金 六万円也	岡本 英子様	
(株)オープン工業様		高橋 豊様	一、金 三万円也	笹岡千寿代様	
大阪府		岡山県		一、金 六万円也	中村 義明様
一、金 十二万円也	赤川美津代様	一、金 十二万円也	三谷 祐功様	一、金 三万円也	北浦 奈都様
	岩本 功様		吉岡 和子様		北浦 奈々様
	西村 聖一様				武井 美和様
	林 育子様				武井 秦様
	藤原 政直様				
	釣井 丈様	山口県		福岡県	
	青木 幸様	一、金 六万円也	小野 千津様	一、金 十二万円也	大原 啓典様
	上 清文様				
一、金 六万円也	伊野原富美様	香川県			
一、金 五万円也	上村 まき様	一、金 十二万円也	笹岡健太郎様		
			小笠原 博様		

御寄付頂いた方の 住所について

今回の御芳名は、
現住所で記載を致し
ておりますが、出身
地区で記載を希望
される方は、ご連絡
ください。この名簿
が木札となり、講堂
に残ることになり
ます。



長老 釣井 龍宏

合掌

13

寄進、御奉仕への感謝

一、金 拾万円也

施主 八畝 信高春代 様

菩提寺興隆・先祖菩提 仏具寄進

一、金 拾万円也

施主 粟生 釣井照子 様

菩提寺興隆・先祖菩提 仏具寄進

一、書 三幅

施主 高知市 土居 瑞 様

仏法興隆・家内安全

年間の行事（おまつり）の前後や年末年始には、初穂米、干物、砂糖、野菜、生花等々が届けられます。ご信心な方々には、行事ごとにさしあげるお食事の準備を始め、当日のお手伝いや受付をしていただいています。また責任役員様をはじめ、各地区世話人様、節分世話人様、詠歌会の皆様には多大なご尽力をいただいております。お蔭様で、各行事も厳粛で盛大に行われています。先祖菩提 仏法興隆のため謹んで御礼申し上げます。

永代日牌供養新奉加ご芳名

永代日牌供養とは、当山持仏堂（弘法大師、

興教大師ご宝前）にお位牌を安置し、毎朝仏飯とお茶を供えて読経回向し、春彼岸の入りには年忌を迎える仏さまの卒塔婆を建て、年忌ごとに、先祖代々の場合は五年ごとにご案内し、ご供養申し上げます。五十回忌の後も、お位牌は末代安置され、ご供養してまいります。
永代納骨は、万霊供養塔にお骨を納めて永代供養を申し上げます。

祠堂料とは、亡き仏さまへの報恩謝徳と菩提寺の興隆を念じて、奉納される浄財です。そのご芳志の高徳にお答えして、菩提寺より、亡きみ仏さまに、院居士、院大師、居士、大師の法名が届けられます。

祠堂料志納ご芳名

一、施主 岩原 三島誠二 様	一、施主 大阪市 渡辺隆昌 様
義母 三谷倫子 ㊦ 菩提也	母 君 ㊦ 菩提也
一、施主 北島町 今市由野 様	一、施主 南国市 村上藤野 様
西村家先祖代々 ㊦ 菩提也	夫 三郎 ㊦ 菩提也
一、施主 柚木 松田健一 様	一、施主 いの町 河本麻紀 様
母 近子 ㊦ 菩提也	母 大家敦子 ㊦ 菩提也
一、施主 高松市 西本由美子 様	一、施主 戸手野 前田正茂 様
平石家先祖代々 ㊦ 菩提也	父 波穂 ㊦ 菩提也
一、施主 松原市 高橋美佐子 様	一、施主 粟生 小笠原幸一 様
都築家先祖代々 ㊦ 菩提也	母 光子 ㊦ 菩提也
一、施主 中内 平石幹雄 様	一、施主 中内 渡辺英広 様
本人 平石幹雄 ㊦ 菩提也	養母 和子 ㊦ 菩提也
一、施主 山城町 中村由花 様	一、施主 黒石 宮本恵美子 様
豊永家先祖代々 ㊦ 菩提也	夫 一男 ㊦ 菩提也
一、施主 元谷尻 井上洋子 様	一、施主 高知市 村山修一 様
西村家先祖代々 ㊦ 菩提也	母 志津子 ㊦ 菩提也
一、施主 大畑井 三谷 知平 様	父 勇太郎 ㊦ 菩提也

寄贈

土居（旧姓…都築）瑞先生は、長年障害者福祉に尽力されてきました。今年は満93才になります。

幼少期を旧満州で過ごし、10歳そこそこで一人釜山から船に乗り高知に帰ってきたそうです。戦後、学校の先生になり、昭和30年代はじめ、東豊永小に4年間赴任され、その間、定福寺に下宿されていました。書道にも熱心にとりくまれ、学校で授業を終えると、高知市の師匠宅へ汽車で1時間半かけて通ったそうです。夜通し書の練習をして、朝4時20分高知発の汽車で学校へ。豊永につくころには、汽車の煙で顔が真っ黒だったそうです。先生の下宿されていた隣部屋では蚕を飼って

ました。「雨が降りゆうと思うて跳び起きたら、障子の向こうで蚕がざわざわと桑をかむ音やったわよ。」

令和二年の秋に書道展を開かれ、その作品のうち三点を寄贈くださいました。『蚕時雨』は、蚕が桑の葉を食べる時に生じるシャワシャワ、パラパラという音を表したものです。先生の益々のご活躍とご長寿をお祈りいたします。力強く温い作品をありがとうございます。



境内整備について

1 蓮池周辺

定福寺には境内に4か所の蓮池がございます。その一つから、長年水漏れがいたしておりました。また苔のため滑りやすくなっております。今回修復と共に池周辺を車いすでも鑑賞できるようにいたしました。



2 駐車場

現在駐車場は、鐘樓堂の西側（第一駐車場）、第一駐車場下の第二駐車場（第二駐車場入り口は、急な坂道のためお気をつけください。多目的トイレ完備）があります。第三駐車場とし



永代供養墓について

定福寺には、先々代の義光僧正の時代に作られた永代供養墓がございます。こちらに納骨をされていらっしゃる方も多いのですが、池周辺の修復の際に参りしやすいように整備をいたしました。



て大型バスなどの駐車のために国道439号線沿いに駐車場のスペースを求めました。12月より整備が始まっております。3月のお彼岸頃に完成予定です。

永続米（護持会費）の納入についてのお願い （令和3年分）

町内檀信徒の皆様は、各地区総代（護持会代表）・世話人様のお世話により、一月中に納入されています。町外檀信徒の皆様は、振替用紙にてお納めくださいますようお願い致します。尚、納められた浄財は、私たちの総本山智積院への負担金及び定福寺の護持興隆の為に使用させていただきます。（振替用紙をご利用ください）

金 1,500円以上也

1月末までにお納めください

郵便口座 口座記号 **01620-7**

口座番号 **12426**

加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

2021年

令和3年度年回表

一周忌	令和2年
三回忌	平成31年
	令和元年
七回忌	平成27年
十三回忌	平成21年
十七回忌	平成17年
二十五回忌	平成9年
三十三回忌	平成元年
五十回忌	昭和47年
百回忌	大正11年
以下50年目ごと	

連絡先をお伝えください

豊永郷では、人口減少が進んでいます。多くのことは、各地区や近所の方々によって、問題解決されますが、緊急事態の時に頼りの方が外出されていたり、遠方の子供や孫に連絡をしなければならぬ時があるかもしれません。実際に近年、そのようなことが何件ありました。そのような時のために、お子様や親戚の方などの連絡先をお寺にお伝えいただいております。お寺の住所録に記載し、お寺から連絡をとることができます。連絡をする際は、お寺から直接致します。別の方に連絡先だけをお伝えすることはありません。

定福寺持仏堂（大師堂）での ご法事について

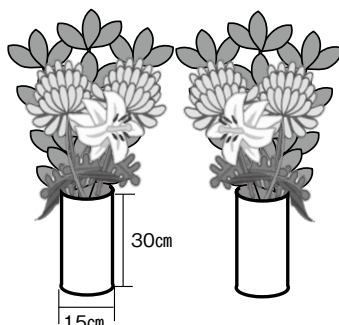
お寺でのご法事の際は、ご自宅でご法事を行うのに準じて用意をお願いします。

○お位牌

○線香とろうソク（大きめのもの2本）

○お花としきび

一対の花入れに
差せるようにま
とめてください。



○お供物としてお菓子や果物

法要にお越しになる大まかな人数をお知らせください。

定福寺開創	1,297年前
本尊造立	869年前
本堂再建	241年前

仏誕	2587年
西暦	2021年
明治から	満153年
大正から	満109年
昭和から	満95年

スポーツ文化

―高知市総合運動場―

豊永郷民俗資料館

学芸員 釣井 龍秀

四月に高知で聖火リレーが行われる。スポーツは歴史学・経済学などあらゆる方面から語られてきた。一方で文化として認識されたのは、最近である。フランスのマルセル・モースは「スポーツは一方で社会の反映であり、他方で社会の発展と変容に関わる社会事実」と言っている。スポーツとは何か、という答えは千差万別であるが、遊びから誕生しているという点は共通している。西山哲郎は「体育は遊びを排除したのに対し、スポーツは遊びを目的とし、成果主義でありながら、遊びであろうとしている」と述べている。

高知県では大正時代から野球・漕艇・庭球・陸上競技・水泳が行

われ、昭和六年に大原町に陸上・野球兼用運動場が設置され、昭和十一年にプール、昭和十五年には相撲場が寄贈されている。現在の総合運動場の骨格が見える。これらの施設は改修や増築が行われ、拡大されてきた。高知市には武道場や弓道場もあり、学校の体育館は、市民に開放されている。各時



高知市総合運動場

代の人気スポーツや競技人口が多いスポーツを中心に、施設が充実したことが分かる。

現在、世界でも競技人口が増えているのはサッカーである。日本サッカー協会は育成年代に対し、選手自らが課題を解決し、自立した考えができる指導を推奨している。オシム元日本代表監督は「育てることと勝つことは矛盾しているようで、矛盾しない」と言っている。スポーツには遊びながら学べるシステムがセットされている。Jリーグ加盟チームがない七県の一つが高知県である。よってJ加盟の基準を満たすスタジアムや練習場がない。高知県には「くろしおキッズ」という有望な小学生を発掘し、運動能力の向上に取り組み、トップ選手を育てる事業がある。スポーツを通して子どもたちが育成され、障害のある人やパラアスリートたちがどこでも練習ができ、老若男女が生涯スポーツを楽しむには環境が必要である。生涯スポーツができる場所が増え、高知市の施設にサッカースタジアムが加わるとうれしい。

御詠歌会より お知らせ

令和二年十月二十八日に窪川の岩本寺にて検定会が行われました。定福寺よりは小笠原京子さんが少教導を受検され合格いたしました。おめでとうございます。

ご詠歌は、お大師さまの教えをはじめ、様々な仏の教えを節につけた歌により、わかりやすくお唱えできます。右手で鉦を打ち、左手には鈴を持ちます。脳の活性化や声を出すことで、気持ちも明るくなります。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



やまぶき

バラ科（木本類）ヤマブキ属
落葉低木。花期は3月～6月。花弁は五枚。一重咲きで黄色。

写真 岡田憲佳

山吹は、日本各地に群生する中国原産の植物で半日陰を好み、湿気の多い山地に自生しています。歌に詠まれているように水辺を好むため、溪流沿いに多く見ることが出来ます。春にはギザギザの葉が付いたしだれた枝先に黄金色（山吹色）の花をたくさんつけ、「山振・山吹」の字はしなやかな枝が風に揺れる様子からあてられたといわれます。

現在は園芸品種として八重のものや白花のものもあります。

定福寺本堂前石段横には一重の山吹の木が大きくなっており、風に揺れると風情があります。

また、「白山吹」と呼ばれる山吹の花によく似た低木がありますが、これは山吹とは違った植物です。山吹は（白い花も含めて）、一重のものは花弁が五枚で枝垂れ。これに対し「白山吹」は花弁が四枚で直立。「白山吹」も境内各所にあり、真っ白い美しい花を咲かせます。

山吹の立ちそよひたる山清水

汲みに行かめど道の知らなく

高市皇子（万葉集巻二一五八）

歌の作者高市皇子は天武天皇の子で壬申の乱で大海人（天武）を支え、戦いに勝利した。彼が心を寄せていた十市皇女が若くして亡くなったのを嘆き悲しみ作った歌。
万葉集にやまぶきの歌は十七首。

●表紙説明 ●『不退転』



玄奘三蔵
(東京国立博物館蔵)

不退転は仏教用語です。一般的には「信念を持ち、何事にも屈しないこと」と理解されています。仏教では、仏道から脱落することを「退転」といいます。脱落しないことを「不退転」といいます。「大般若経 巻四四九」には、「仏の道に入り、教えを得れば不退を得る」とあります。

玄奘三蔵（602-664）は、三蔵法師ともよばれ、中国の唐の時代に活躍した僧侶です。玄奘三蔵は仏典の研究は、原典に拠るべきだと考えました。しかし、当時は不安定な政治状態だったために、出国する許可が出ませんでした。国禁を犯して当時の中国に未だ伝来していなかった経典を求め、二十七歳のときインドへ教えを求め旅にでました。玄奘三蔵の仏の教えを得るまでは戻らない、という強い気持ちでまさしく「不退転」です。というお話を私は、宮坂有勝宛下からお聞きし、この言葉を認めて頂きました。以来、私の机の上にはこの額が掲げられています。

玄奘三蔵は帰国後、持ち帰った経典や論疏二二三五巻を翻訳されました。現在の『般若心経』も玄奘三蔵の翻訳によるものです。

定福寺の諸仏像（県指定12体 ○印）・堂宇

定福寺本堂

- 阿弥陀如来像(本尊)
- 薬師如来像(脇士)
- 地藏菩薩像(脇士)
- 不動明王像
- 毘沙門天像
- 大聖歓喜天像
- 十一面観音像
- 不動明王像
- 矜羯羅童子像
- 制吒迦童子像
- 大黒天像

宝物殿

- 六地藏（笑い地藏）
- 十一面観音菩薩（定福寺奥ノ院）
- 聖徳太子立像
- 不動明王座像
- 弘法大師座像（御影堂）
- 毘沙門天

持仏堂（大師堂）

- 弘法大師座像
- 聖観音立像
- 地藏菩薩立像
- 行基菩薩座像
- 興教大師座像

〈国登録有形文化財〉 本堂、持仏堂(大師堂)

境 内

- 弘法大師修行像
- 十三仏像
- 七福神像
- 四国 88ヶ所お砂踏
- 仁王尊像
- 稚児大師像
- 薬師如来像

令和3年 当山年中行事

行 事	日 時
修 正 会 初護摩祈祷 大般若経転読	1月1日 午前0時より
修 正 会 大護摩祈祷 大般若経転読	1月2・3日 午前9時より
七 福 神 ま つ り（福笹授与・七草がゆ接待）	1月7日 11時
節 分 会（厄はね歳とり）大護摩祈祷	2月2日 13時
檀 信 徒 年 回 忌 先 祖 総 供 養（彼岸中日）	3月20日 13時
土 砂 加 持 法 要（先祖菩提総供養）法話 12時より	4月1日 14時
加 持 ヶ 峰 奥 ノ 院 大 師 縁 日 大護摩祈祷（旧暦3月21日）	5月2日 13時
花 ま つ り（大念珠まわし・百足除札授与・甘茶接待）	5月19日（旧暦4月8日）10時
蓮 ま つ り（万霊供養）土佐豊永万葉植物園保存会主催	7月初旬～8月中旬
諸 病 き ゅ う り 封 じ 祈 祷 土用の丑	7月28日 9時
お 盆 総 供 養（迎え火）	8月13日 9時
施 餓 鬼 供 養（千体地藏流し・送り火）東土居川原	8月16日 16時
も み じ ま つ り	11月初旬～12月初旬
粟 生 聖 天 結 願 祭（開運福寿）	11月16日 9時～14時
除 夜 の 鐘	12月31日
粟 生 聖 天 ご 縁 日	毎月 1日・16日
詠 歌 会（午前10時～12時）	毎月 2回

御法事を営まれる際はなるべく早目にお申し込みくださいますようお願いいたします。
（友引は葬儀、法事は執り行いません）お塔婆は1本二千円です。

発 行 所

真言宗智山派
宗教法人 粟生山 定 福 寺
〒789-0167 高知県長岡郡大豊町粟生
☎ 0887 (74) 0301(代) FAX 0887 (74) 0302
HP: jofukuji-kochi.jp

郵便口座 口座記号 01620-7 口座番号 12426
加入者名 宗教法人 粟生山 定福寺

住 職 釣井 龍秀
長 老 釣井 龍宏
法類総代 竹林寺住職
責任役員 海老塚和秀
責任役員 下村 堯基
地区護持会 小笠原俊一
遍照講詠歌会議員 代表会 一同

令和三年

辛丑